

平成 28 年度

視察研修報告書綴

研修日 平成 29 年 2 月 8 日（水）

視察研修地 兵庫県多可町

研修日 平成 29 年 2 月 9 日（木）

視察研修地 兵庫県市川町

基山町議会

広報広聴常任委員会

基山町議会

議長 鳥飼勝美様

広報広聴常任委員会

委員長 久保山義明

行政視察報告

本委員会は、行政視察を行いましたので、下記のとおり報告します。

記

1 視察日程

平成29年2月8日（水）～2月9日（木）

2 視察先・目的

（1）兵庫県多可町

・議会広報編集について

（2）兵庫県市川町

・議会広報編集について

3 視察内容

別紙報告書のとおり

4 視察参加者

委員長 久保山 義 明

副委員長 松 石 健 児

委 員 河 野 保 久

委 員 牧 藺 綾 子

委 員 末 次 明

委 員 大久保 由美子

日 時：2017年 2月 8日（水）～ 2月 9日（木）

内 容：広報広聴常任委員会 行政視察報告

行 先：兵庫県多可町・兵庫県市川町

視察議員：久保山義明、松石健児、河野保久、牧菌綾子、末次明、大久保由美子

議会事務局：高木英斗書記

報告議員： 広報広聴常任委員会 委員長 久保山 義明

- 兵庫県多可町は、兵庫県の内陸部に位置し、総面積 185.19 km²。酒米の最高峰「山田錦」発祥の地として知られ、ほかにも手漉き和紙「杉原紙」発祥の地、「敬老の日」発祥の地と3つの「発祥の地」である説明をうけた。人口は22,247人、世帯数は7,527戸、高齢化率は31%となっている。

議員数 14人 ・議会広報編集特別委員会 6人

対応議員：清水副議長・廣畑委員長・市位副委員長・笹倉委員・大山委員・日原委員・辻委員（挨拶：戸田町長）

事務局：高田局長・植山副局長・太田主査

- 兵庫県市川町は、兵庫県の中央からやや南西に位置し、総面積は 82.67 km²。国産ゴルフクラブの発祥の町であり、人口 12,675人、世帯数は4,914戸。

議員数 12人 ・議会広報編集委員会 6人

対応議員：正木議長・本間副議長（副委員長）・内藤委員長・堀田委員・中野委員・重里委員・石川委員（挨拶：岩見町長）

事務局：岡本局長・柴田主査・後田主事

○ 視察内容と所感

・議会広報編集について

- 1) 議会だよりを編集するにあたり注意している点や力を入れている点
- 2) 議会だより作成に際し、編集ソフトを使用しているか
- 3) 議会報告会の内容、参加者人数の推移など
- 4) 議会広報の発信は、ホームページや議会だより以外に何かあるか

今回、視察先の多可町、市川町ともに地の利を活かした特産品の産業形態を前面に打ち出した施策が特徴的でありながら、やはり人口減少に歯止めがかからない中で行政運営が見てとれた。また、広報誌においては兵庫県が議会広報のコンクールを実施するなど、地域全体での議会広報の重要性が感じられ、特に議会広報の先進地である多可町の素晴らしい面を隣町でもある市川町が参考にしながら、お互いが切磋琢磨している様子を感じ取ることが出来た。

兵庫県多可町

● 議会広報編集について

所感：平成 18 年創刊で現在 45 号。平成 27 年度全国町村議会広報表彰において、第 38 号の表紙が表紙写真賞「銀賞（第 3 位）」を受賞。写真に関しては写真担当の委員が撮影にあたる。

特筆すべきは、議会広報の予算である。当初予算で 192 万円（7,220 部）という額は、基山町 63 万円（6,600 部）の約 3 倍にあたり、1 ページあたり単価も 2.22 円であり、基山町 1.28 円の約 2 倍の額となっている。

この金額の余裕が、議案の数や質、一般質問の人数等によってフレキシブルなページ数（22P～26P）を確保できているように感じられた。

議会報告会は、平成 23 年 5 月から開始され、7 箇所年 2 回開催された。参加人数も 1 回目 101 名、2 回目 91 名と多くの参加者があったが、平成 24 年は 3 箇所年 2 回、71 名と 46 名の参加者であった。その後は、およそ年 1 回 3 箇所での報告会となり、平成 25 年 70 名、平成 26 年 26 名、平成 27 年 50 名の参加者となり、参加人数の減少を危惧されている。

質問：最初の原稿作成はどのようなカタチで作成するのか？

答え：基本的にデータで提出。イラストレーター（ソフト）の導入も要望しているが理解されない。いまは、レイアウト用紙に大まかな記事を貼り付けるというアナログ的な手法で全体のバランスをとっている。

質問：ページの段割りは？

答え：5 段にするのか 6 段にするのか悩むが、統一性を持って取り組むよう指示している。

質問：見出し、リードのインパクトがあるが

答え：細かい記事はなかなか読んでいただけないため、大切にしている。見出し、リードで善し悪しが出ると思う。

兵庫県市川町

● 議会広報編集について

所感：町長、議長、副議長をはじめ全委員があたたかく迎えていただき幅広い質問に対しても寛容に答えていただいた。

市川町は、以前の事務局作成の議会だよりから、委員会自らが構成する議会だよりとなり大きく変わった印象が強かった。多可町と隣接し、お互いの勉強会を開催するなど積極的な取組に今後の更なる充実がみてとれる。

市川町も多可町同様、当初予算 102 万円（4,700 部）ページ単価 2.4 円と高額な予算編成となっている。そのため、やはり議案や一般質問の質や量に準じてページ構成が変わっている。

また、表紙カラーが年 4 回発行中 2 回であるが、予算の関係上そうになっているとの説明を受けた。

質問：一般質問や議案審議の箇所は、レイアウトが毎回変更されているが意図的なものか？

答え：いわゆる発展途上であり、様々な形態を模索している。これからもどんなレイアウトがいいのか模索を続けることになるだろう。

質問：フォントのポイント数が大きいと思われるが。

答え：高齢者の方が中心に読まれることが多いと思い、従来の 11 ポイントから 12 ポイントへとあげた。

はじめて九州から本州へと移った広報広聴常任委員会としての視察であったが、内容的に非常に充実したものとなった。

今後、議会としての報告内容をインパクトのあるものとしながらも、フルカラーとすべきか、一般質問のページ割りを 1 ページとすべきかの判断が難しい。また、討論内容の記載、意見書・請願書の記載など改善点及び検討箇所が改めて浮き彫りとなった。

やはり、予算上の問題もあると思われるが、議案の量や質によってフレキシブルにページ数を変更できるのは大きな魅力ではないか。

また、文字の大きさはどれくらいが適正なのかということも改めて考える必要があるように思う。

まずは、極力文字数を減らし、見出しやリード、写真を全面に打ち出すことからスタートすべき時期に来ていると感じた視察だった。

忙しい議会日程のなか、真摯に対応いただいた両町の関係各位に深く感謝申し上げます。

平成29年3月5日
広報広聴常任委員会
副委員長 松石 健児

行政視察研修報告

●視察日程・視察自治体・視察内容

- 1 期 日 平成29年2月8日（水）～2月9日（木）
- 2 視察先 （1）兵庫県多可郡多可町 議会広報編集特別委員会
（2）兵庫県神崎郡市川町 議会広報編集委員会

●各町における概要は委員長報告に準ずる

- （1）兵庫県多可町 議会広報編集特別委員会

所 感

（I）議会広報誌編集について

多可町は兵庫県の内陸部に位置し、平成17年に多可郡中町、加美町、八千代町の3町が新設合併した、人口約2万2200人の町である。

多可町議会だより「T a k a G i k a i 輝」は兵庫県議会広報誌コンクールにて、平成19、21、25、27年度は優秀賞、平成23、26年度は特別・兵庫ジャーナル賞を受賞している。

「基山町議会だより」との参考となる相違点は下記の通りである。

- 印刷部数・・・・・・・・・・ 基山町 6,600部 / 多可町 7,200部
- 広報印刷費・・・・・・・・・・ 63万4千円（当初） / 192万円（当初）
- 1ページ当たりの単価・・・・・・・・ 1円28銭（16p） / 2円22銭（26p）
- 記事・・・・・・・・・・ 表紙・裏表紙のみカラー / 基山町と同じ
- 総ページ数・・・・・・・・・・ 16～18ページ / 26ページ前後
- 議員一般質問の議員原稿枠・・・・ 1/2ページ / 1ページ
- 入稿までの製作期間・・・・・・・・ 約30日 / 約30日

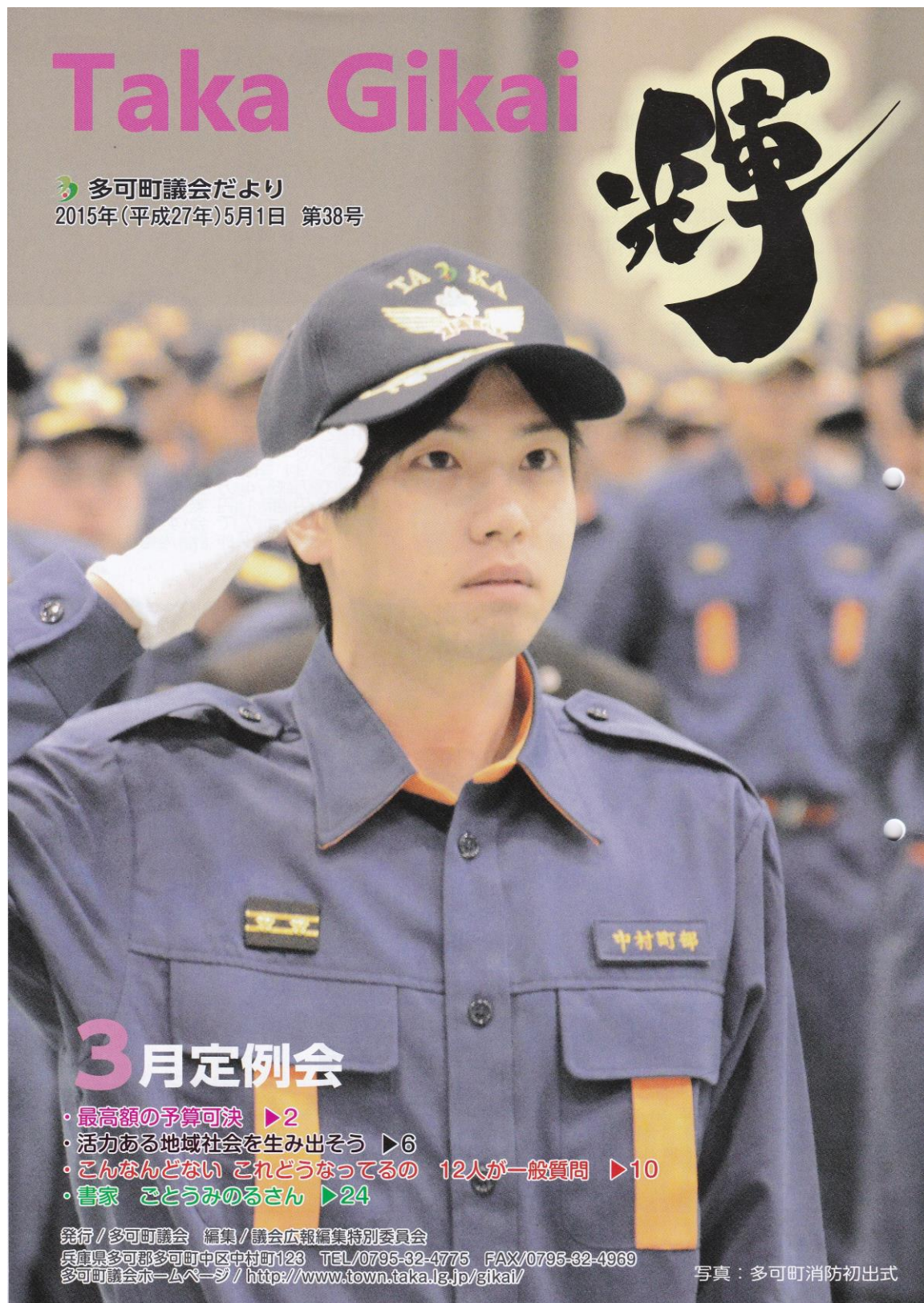
ページ数は多いが、写真も文字も大きく非常に読みやすい。「行政用語を極力使わない」「小学校高学年でもわかるように」「キャプション（写真・挿絵などに付ける説明文）にこだわり」等を念頭に取り組みられている成果がよく出されていた。

表紙や特集は町民の活動を中心として編集されており、議会だよりの親近感を誘引しているように感じる。

広報印刷費は220万円から192万円に削減したそうだが、それでも基山町の約3倍の予算規模で余裕がある。特集ページ数を増やしたり臨時号を発刊したり、議員の一般質問も1人1ページ確保されており、様々な点で町民への議会活動の報告が効果的

に行われていると感じた。

議会報告会も年に1回行っており、回数は基山町議会と同じだが、報告会の場所を3か所に分けて、議員も3組に分けて行っている。基山町よりもかなり多可町の面積が広い（総面積 185.19 k m²）ことへの配慮であろうが、基山町議会でも検討したい。



Taka Gikai

多可町議会だより
2015年(平成27年)5月1日 第38号

輝

3月定例会

- ・最高額の予算可決 ▶2
- ・活力ある地域社会を生み出そう ▶6
- ・こんなんどない これどうなってるの 12人が一般質問 ▶10
- ・書家 ごとうみのるさん ▶24

発行 / 多可町議会 編集 / 議会広報編集特別委員会
兵庫県多可郡多可町中区中村町123 TEL/0795-32-4775 FAX/0795-32-4969
多可町議会ホームページ / <http://www.town.taka.lg.jp/gikai/>

写真：多可町消防初出式

【多可町 表紙の一例 写真にはかなりこだわっているようだ】

問 転ばぬ先のハンドル運動を
答 高齢者対策は積極的に展開



安田 昇 司議員



なかなか上手に止めれんのお

安田 連日のように高齢者の交通事故が報道されています。しかし、多可町では車無しでの生活は無理と言っても過言で

はありません。そこで、全国に先駆けて高齢者の運転技術に町が積極的に関わる施策を展開してはどうでしょう

か。

転ばぬ先の杖にあやかり「転ばぬ先のハンドル運動」とても銘打っての事業展開を考えます。

集落の老人会が年2回春蘭荘に行かれますが、この機会を利用しての事業はどうでしょうか。

・模擬運転装置（トレイチャー）による運転の自己確認

・駐車訓練（スーパードの駐車ライン内に、一回できっちり止められない高齢者が多いので白線を引いての訓練）

・視野の150度確認・視力・聴力テスト

・簡単な認知症自己確認（交差点の優先・逆走）

などの「転ばぬ先のハンドル運動」を町の事業として、積極的に展開しては考えますが、町長の見解を求めます。

町長 現在、実施しています各事業のさらなる事業展開を検討

します。教習場の実際のコースを借用して、高齢者の運転講習も実施しています。安全確保のため、一人でも多くの人に参加してもらえようという内部協議もし、積極的に取り組めます。

問 国道豊部バイパスの進み具合は

安田 国道427号豊部バイパスは、生活環境常任委員会で12月から用地・物件の交渉に入るとの説明を受けました。県との事業協議を含め、今後の展開はどうなるのですか。供用開始はいつからと考えていますか。

答 県と町との事業調整をして実施

町長 町と県との事業調整をして、町は合併特例債も利用して実施します。県も執行環境が整えば、事業に着手されます。

(1) 兵庫県多可町 議会広報編集特別委員会

所 感

(I) 議会広報誌編集について

市川町は兵庫県姫路市より車で約一時間の山間部に位置（基山町から福岡県庁と同等の距離）し、人口約 1 万 3000 人の町である。

伝統的な刀鍛冶の技術を応用したゴルフクラブの製造が盛んで、日本のゴルフクラブ発祥の地として知られている。

市川町議会だより「いちかわ」は兵庫県議会広報誌コンクールにて平成 18、28 年度に努力賞を受賞している。

「基山町議会だより」との参考となる相違点は下記の通りである。

- 印刷部数・・・・・・・・・・ 基山町 6,600 部 / 市川町 4,700 部
- 広報印刷費・・・・・・・・・・ 63 万 4 千円（当初） / 102 万 3 千円（当初）
- 1 ページ当たりの単価・・・・ 1 円 28 銭（16p） / 2 円 40 銭（14p）
《市川町：表紙／裏表紙がカラーの場合 2 円 93 銭（14p）》
- 記事・・・・・・・・表紙・裏表紙のみカラー / 基山町と同じ・一部カラー挿入
- 総ページ数・・・・・・・・・・ 16～18 ページ / 14 ページ前後
- 議員一般質問の議員原稿枠・・・・ 1/2 ページ / 1 ページ
- 入稿までの製作期間・・・・・・・・ 約 30 日 / 約 30 日

ページ数は基山町より少ないが、今回視察で訪れた多可町の議会だよりも参考にしており、スペースに余裕を持たせ、文字の大きさも大きく読みやすい。

内容に関しては小学校 6 年生でも理解できるような内容に心がけて作成しているそう。また内部の 2 色刷りの基調色は淡い緑を活用（基山町は淡い青）し、目に優しい配色に配慮している。ページ数は内容により増減させている。内容は基山町と同じく 2 色刷りだが、写真や注目記事には一部カラーのものを活用させ内容にメリハリをつけている。

表紙の名称「いちかわ」の毛筆文字は毎回、小学生に公募しており採用者は裏表紙で紹介し、議会だよりを町民に親しんでもらえるような方策が組まれている。

多可町と同じく、印刷費には十分な予算が付けられており、編集内容の幅が広いことで、読者への読みやすさを効果的に打ち出すことが可能となっている。



【小学生へ文字募集を実施】

いちかわ議会だより 第127号

2017年2月1日発行
●発行：市川町議会 ●編集：議会広報推進委員会
〒270-2332 千葉県市川市市川町1-1-5

ホームページ: <http://www.city.ichikawa.chiba.jp/ichikawa>
お問い合わせ: 0476-82-1100 (内線417 議会事務局)

賀堂流碑清掃

賀堂流市川吟詠会は12月11日、年に一度の当番月にあたり姫路護国神社の流碑の清掃を行った。参詣歌吟詠道賀堂流、初代宗家、磯部賀堂先生は英霊のため、護国神社に記されている。

私が書きました!!

表紙「いちかわ」の文字募集について

市川町在住の小学生のみなさん、議会広報紙の「いちかわ」の文字を書いてみませんか。半紙に横書き・縦書きで「いちかわ」とひらがなで書いていただき議会事務局に持参ください。その際、顔写真のデータ（裏面の紹介欄に使用、小学校名、学年も添えて提出願います。ご応募お待ちしております。

（募集期間）
2月1日から3月30日

（掲載について）
いただいた方を第128号の表紙に採用し裏面に顔写真を掲載。その次の方以降は裏面に文字と顔写真を掲載。

鶴居小学校 1年
掘田 瑠奈 さん

次回定例会の日程（予定）

町議会では、予算・条例をはじめ行政に対する一般質問など、住み良い市川町をめざして審議しています。この審議の様子を住民のみなさまに傍聴していただくための傍聴席を議場に26席設けています。議会をどのように運営しているか、ぜひ傍聴にお越しください。お待ちしております。

いつ？	予定している主な内容
3月 1日（水）9:30から	議案の提案理由等の説明
3月 8日（水）9:30から	一般質問
3月29日（水）9:30から	議案に対する質疑・討論・表決

編集後記

余寒厳しい頃で御座います。が、晩冬寒明けとも申しまして、春が近づくと感じる頃でも御座います。皆々様に於かれましてはご健勝の事と存じます。

ご存知の如く、「議会だより」は年4回の発行で御座います。昨年12月の定例会に掲載致して居ります。新人議員と致しましては、議会広報委員会に所属し女性の視点での広報誌作りの発言を致しまして、委員皆様と共に編集に取り組んで参りました結果、第37回兵庫県町議会広報紙コンクールに於いていちかわ議会だよりNo.124が、優秀賞・特別賞に次ぐ「努力賞」を受賞致しました。当町としては、10年ぶりの快挙で御座います。お一人でも多くの皆様にご覧いただき研究を重ね、今回の号より一人の一般質問掲載の紙面を倍にし、文字数も増えつつも居りますので、発言者の趣旨もより分かり易くなったのではないかと存じます。原稿への写真も各議員が撮影し添付するなど今後皆様にも高評価を頂ける紙面作りにも一層努力致して参ります。皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

編集委員 中野 史子

一般質問



本問 信夫

問 子育てをしながら働ける環境づくりに、幼保一元化された認定こども園の早期設置が必要であると考えますが。

答 教育課長 本町においては、公立の幼稚園、保育所等の子育て支援施設の老朽化が深刻であり、施設整備が喫緊の課題となっている。こども・子育て支援施設再編計画に基づき、認定こども園の設置を進め、平成31年4月に開園を目指す。これによって保護者の就労形態にか

わらず、子どもの教育、保育の機会を保障し、多様なニーズに対応することによって、安心して子どもを産み育てられる環境をつくっていききたい。



元気な園児（甘地保育所）

認定こども園の早期開園を
— 31年4月より開園課長

リフレッシュパークの活性化を

—— 指定管理者と協議しながら集客増を課長



大盛況の収穫祭

問 活気がないと思うが、運営委託ということで、指定管理者に任せっきりになっているのでは。

答 地域振興課長 本年4月より指定管理者が（株）夢屋になつていて、毎月定期的に課題等の協議をしたり、意見交換を行い、施設の魅力を高め、より集客力を高めるよう努力をしている。リフレッシュパーク市川は、町にとって大切な観光資源であり、ただ1つの宿泊施設でもある。本町にとっては極めて価値の高い資産であるという認識を持っている。28年度には、春、夏、秋と1つずつイベントを開催し、集客力アップの成果は上がっている。



13

いちかわ議会だより 第127号 平成29年2月1日

【1人1ページを割り当てられた一般質問ページ とても読みやすい】

おわりに

本年度の基山町広報広聴常任委員会では議会だよりを、より多くの方に読んでいただく、印刷冊数を150部増刷し（計6600部）、町内の公共施設10箇所に新たに配布することになった。このような検討・実行は、やはり他行政の活動を視察し比較させていただくことによる効果大きい。

今回の視察させていただいた多可町、市川町も人口減少、財政問題、地方創生など、様々な問題に取り組む中、議会の経過を分かり易く町民へ広報する責務は増加していくものと思われるし、基山町も同様である。

印刷費に関しては両町とも非常に魅力的ではあるが、基山町もいかに効果的な議会だよりを作成していくかは、印刷費の予算も含め再考していく余地があるだろう。今回までの視察を大いに参考にして、町民のニーズに見合う分かり易い議会だよりの作成に活かしていきたい。

平成 28 年度広報広聴常任委員会行政視察報告書

広報広聴常任委員会

委員 河野保久

日程及び視察先

平成 29 年 2 月 8 日（水）兵庫県多可町 議会広報編集について

～

平成 29 年 2 月 9 日（木）兵庫県市川町 議会広報編集について

1、はじめに

前任時を含めて 4 回目の視察研修であった。

広報編集委員としての視察研修は、ほかの常任委員会がいろいろなテーマで視察研修を行うのに対し、「議会だより」をより多くの皆さんに手に取って頂く為には、どのように広報の編集を行うのがベターなのかを探るための視察であり、永遠のテーマの追究であるのかなと考えている。今回は九州以外の地域での初の視察研修であり、ある意味期待も大きい研修であった。

視察の概要については委員長の報告に委ねることとし、所感を述べて報告といたしたい。

Ⅱ、所感

1、多可町視察研修での所感

（1）議会広報編集について

- ① 行政用語をなるべく使用しないで、分かりやすい文言にするよう留意している。「中学生にも分かる広報」をコンセプトに具体的な姿勢をもって編集にあたっている点は参考としたい
- ② 一般質問を含め原稿の読み合わせを複数回行い、一回の発行に編集会議を 6 回行っている。委員長をはじめとする各委員の努力が各種の賞を受賞した要因かなとも感じた。
- ③ 写真撮影・記事（各委員会等）の担当者等の役割分担をなるべく決めて行うようにしている。
- ④ 5 段組みの紙面構成（基山は 6 段組みが基本）にしており字が基山と比較して大きい。一般質問も一人 1 頁、ページ数は特段の決めがなく、議案の多少等によりページ数も変化している。
広報印刷費が 1920 千円（基山 634 千円）と多めの予算となっている為、あまりページ数のことは意識しないでの編集となっている。
- ⑤ 全員が一般質問すると、それだけで頁数が 13 頁に及ぶこととなり、議案が少ない場合など一般質問だけの議会だよりになってしまうのではとの危惧も感じた。

（2）議会報告会

- ① 議会基本条例により、年 1 回以上の開催をすることになっている
- ② 中学校区 3 会場で実施。議員を 2 班に分け、各会場の開催日をずらし、2 班での持ち回りによって開催。参加者増に苦労しているようだ。

(3) その他

- ① 冒頭の町長の挨拶の中で、当町が「敬老の日発祥のまち」であり、敬老の精神を受け継いでいく為に、敬老のうた「きっとありがとう」を作成し、全国発信をしていることを聞き、素晴らしい町づくりだと感じた。
- ② 日本酒造りに欠かせない酒米「山田錦」発祥の地であることも、基山との縁を感じた。

2、市川町視察研修での所感

(1) 議会広報編集について

- ① 合併等もあり、議会だよりでの広報の重要性が増し、隣接する多可町への研修なども行い、最近では県の広報コンクールでの努力賞を取るまでになったとのこと、編集委員の頑張りには頭が下がる。
- ② 2017年2月1日発行の127号より一般質問を1人1頁に割り当て掲載したとのこと、現状に満足することなく、まだまだ発展途上の為、いろいろな面での変更を行っているとの副委員長の話は好感が持てた。
- ③ 多くのことを伝えたい思いが強く、特に定例会の審議報告の記事に関しては、やや羅列されている感じがした。
- ④ 紙面づくりについて多数の議員が項目ごとに担当を決め説明をしていただき新鮮であった。
- ④ 町で初の女性議員の方の説明は、議会だよりに対する熱意が感じられた。
- ⑤ 人事案件の記事に、必ず理由が掲載されていたのは参考になった。

(2) その他

- ① ゴルフクラブの製造が盛ん。特にアイアンヘッドは刀鍛冶の技術を応用した製造方法で日本のゴルフクラブの発祥の地であるとのこと、現地に行って初めて聞き知った事でした。
- ② 多可町も同様であったが、庁舎の改装工事のため、庁舎外での研修となり、庁舎内での職員の方々の仕事ぶりが見れなかったのは少し残念であった。

Ⅲ、結びとして

今回、九州からでは中々行く機会のない地への視察であったが、新たな発見があり、現地に触れる重要性を感じた。

広報の編集を行うにあたっては、「広い情報を現場から！」を心がけていきたい。



改装工事中の市川町役場



多可町仮庁舎での意見交換

以上

日 時：2017年2月8日（水）～2月9日（木）

内 容：広報広聴常任委員会視察研修報告

議員名： 牧 蘭 綾子

< 研修視察場所……（兵庫県多可町） >

『兵庫県の真ん中に位置し、播磨富士と呼ばれる笠形山には、5つの滝を望みながら上ることができるハイキングコースがある自然豊かな町である。また、山田錦発祥の町として、生産された山田錦は全国各地の蔵元に出荷されている。そういう自然豊かな町であるが、町内には人家の密集していない熊の出没する場所もあり、抱える問題を提起し、施策につなげているのか、議会だよりの中でどう町民に伝えていくのかを中心に編集に力を入れ議会だよりを発行している。』

* 研修内容……議会広報編集について

- ①議会だよりを編集にあたって注意している点や力を入れている点は。
（回答） 行政用語を用いない。記者ハンドブックで確認しながら言葉の見直しをする。小学校の高学年・中学生が読んでわかるものという意識で内容を書く。
- ②議会だより作成に際し、何か編集ソフトを使用しているのか。（イラストレーターなど）
（回答） 使用していない。
- ③議会報告会を行っているならば、その内容、参加者数の推移などどうか。
（回答） 報告会は、年1回以上開くと、議会基本条例の中で明記しており、現時点で8回開催している。開催場所には、議員を2班に分け、同じ報告内容を順番に担当して行っている。参加人数は、1回目の人数から徐々に減ってきている。
- ④議会広報の発信は、ホームページや議会だより以外に何か（SNS等）あるか。
（回答） フェイスブックで発信している。



- ・ 多可町の議会だよりは、表紙の写真にインパクトがあり、どの号も人のいい表情をとらえている。その点については、一人の人が写真担当となり撮影していて、個人の一般質問に載せる写真でも、編集の際に良くないと判断すれば、代わりに撮影してくることもあるという徹底ぶりである。また、編集委員として16年という議員が、委員長以外の立場の時でも経験からのアドバイスが大きく、編集委員が何年かで変わり、その度に一から構成面で作り上げるということがあまりないのが、特徴でありメリットと思う。レイアウトのやり方、見せる工夫やテクニックには、大いに参考にしたいと感じた。

< 視察研修場所……(兵庫県市川町) >

『 兵庫県の真ん中に位置し、姫路市から高速を使って約20分という利便性もあり町の名前の由来になっている大きな市川がJR播但線に沿って流れている自然豊かな町である。また、刀鍛冶の技術を応用した鍛造製造による国産初のアイアンヘッドを完成させ、現在は約20社の関連企業が活躍している。また、黒澤明監督の羅生門でデビューし、世界的に認められているシナリオライター橋本忍氏の記念館もあり、数多くの作品の資料、トロフィーなど展示されている。』

* 研修内容……議会だよりの紙面づくりについて

- ①改革に沿った経緯と編集方針。
- ②編集から発行までの流れ
- ③掲載内
- ④項目ごとの記事作成者
- ⑤レイアウト、職員・外部等への依頼事項
- ⑥いt判質問の取り扱い
- ⑦写真の収集方法
- ⑧編集権限

(回答) 表紙の写真は委員会メンバー全員でテーマにそって撮ってきている。丁寧語は使わず小6でも読めるようにとむずかしいものを簡単に、地方新聞の形式で編集している。一般質問の掲載については、質問、見出しは、8文字から12文字以内で簡潔明瞭にまとめ、質問項目が一問なら600字から800字で、二問なら500字から600字にして写真を載せるという形式にしている。ただ、一番新しい号では、文字数にこだわらず一人1ページで、写真も必要なら2あるいは3掲載している。



- ・印刷部数が、基山町が6, 800部に対し、市川町は4, 700部と少ないが、広報印刷費は約40万円多く、費用弁償もある。編集会議回数はほぼ同じだが、委員会開催の勉強会はない。町民に読んでもらいたい意識での委員会の方針を議員が受け入れているようだ。その点、基山町も同じ意識で取り組んでいるが、基本、基山町はページ数16で、一般質問での議員一人に二分の1ページしかないという点がネックで、行き詰まり感があった。思いきって読みやすくを徹底して、今より文字数を減らし、内容をさらに絞って大まかな見出しだけで、理解できるようなシンプルなものに、変えていくしかないのではと感じた。この点次回の議会だよりから変えていきたいので、視察報告の際に全議員へ提案するよう意見を出した。

広報広聴常任委員会視察研修報告書

1. 視察内容

- ・ 期日平成29年2月8日（水）～9日（木）
- ・ 参加者 7 名

広報広聴常任委員 6 名（久保山委員長、松石健副委員長、河野、牧園、大久保、末次）
基山町議会事務局 書記 1 名（高木）

- ・ 日程場所及研修内容
2月 8日 兵庫県多可郡多可町 議会広報編集について
9日 長崎県神埼郡市川町 議会広報編集について

2. 視察・研修目的

今回訪れた 2 町は共に基山町より面積は広く、兵庫県姫路市より内陸部に入った歴史と自然豊かな町です。両町とも町長、町職員、町議会が町に誇りを持って「自然と歴史と伝統」を引き継いであります。

私達基山の町議会広報広聴常任委員会も基山町に誇りを持って議会だよりを編集、発行していますが、更により良い「議会だより」を町民の皆様に届けるため、しっかりと両町の優れた取り組みを学び今後の紙面向上に活かしたいと思います。

3. 視察先

① 兵庫県多可郡多可町

ア. 対応者 10名 町長 議会広報編集特別委員会委員長 副委員長 委員 4 名
事務局長 事務局副局長 事務局主査

イ. 視察目的 議会広報の編集について

ウ. ここが聞きたい ・ 議会だよりを編集するにあたって注意している点や力を入れている点

・ 編集ソフトの使用について

・ 議会広報の発信はホームページや議会だより以外にあるか

・ 議会報告会の内容、参加者数の推移

多可町の取り組み

- ア. 特集記事や裏表紙に町内で頑張っている人や団体をピックアップして紹介
- イ. 単に「議会だより」ではなく「Taka Gikai 輝」というタイトルでアピール
- ウ. 多可町は185.19km²と面積が広く議会活動広報のため「議会報告会」を複数の過剰で開催されている。報告内容は多岐にわたるが参加者が少ないことが悩み

所感

議会の広報紙を「議会活動状況を広く町民に周知し、議会が議論する場であり、議論の経過を伝えることに重きを置いてある。」としっかりと位置付けされている。町の面積が基山町の8倍あり議会広報は町民に議会を知ってもらう重要なツールとして位置付けされている。

紙面は20～24ページで表紙及び最終ページがカラー刷りとなっており、字のもフォント基山町より大きく写真の人物も大きくインパクトがある。一般質問は一人1ページを割いており写真も豊富で議員も書きやすいし読むほうも読みやすい。

② 兵庫県神崎郡市川町

- ・対応者 11名 町長 議会議長 議会広報編集委員会委員長 副委員長
広報編集委員会委員4名 議会事務局長 議会事務局2名

イ. 視察目的 ・議会だよりを編集するにあたって注意している点や力を入れている点

- ・創刊は昭和57年と非常に歴史がある

- ・低予算で高品質の議会広報の作り方

ア. ここが聞きたい ・写真に躍動感がある

- ・ページ数に決まりがないが毎号インパクトがある

- ・カラーページも不特定、グリーンと黒基調の2色刷りも読みやすいし、カラーでなくとも白黒の濃淡でスッキリまとまっている

市川町の取り組み

ア. 昭和57年より発行、歴史があるだけでなく現状に満足しない姿勢が感じられる

イ. 写真専任の委員が議会だよりのための写真を撮っているし、役割分担が明確

ウ. ページ数にこだわりはなく。毎号ごとに必要ページが割かれている

所感

市川町の議会広報の編集方針は「中学生にも読んでもらえるような、親しみやすいものにする。」と言う事から始まっており、「難しいことを分かり易く」をモットーに編集されている。町議会議員として議会報を発行することに誇りを持っておられます。

4. まとめ

基山町民には基山町の町政がどのような経緯で動いているのか、そして、町長や各議員がどう思っているのか非常に分かりにくいものです。町長の場合はいろんな場面で自分をアピールする機会があるわけですが町議会議員の場合は限られています。

町民の皆さんに「解り難い、知らないうちに決められている」「難しい言葉ばかりで町民本意でない」となってしまっては基山町議会そのものの見識が問われます。

今回視察した多可町、市川町は共に兵庫県の中でも地味なイメージの町でしたが、実際に派手さはなく、わが町に誇りを持って真面目に取り組まれているという印象です。

議会広報にも難しい言葉や専門用語の羅列を排除し「分かり易さ」「目で見てわかる写真の有効活用」が伝わってきました。

基山町の議会だよりも「分かり易い」「読みやすい」そして「読みたい」と思える紙面づくりを目指したいと思います。

多可町、市川町とも快く視察を受けて頂きありがとうございました。

以上

視察先：兵庫県多可郡多可町 多可町議会広報編集特別委員会 6人

○多可町議会だより TaKa Gikai 輝

- ・ ページ数に決まりがなく、各号の状況に応じてページを増減している。
- ・ 基山町議会だよりは16P（2回）、18P（2回）だが、多可町は20P～26Pの範囲で変わる。その為に予算を多めに確保している。
- ・ 1回の発行部数は、約600部多可町議会が多いが、予算は基山町の約3倍。
- ・ 写真が、どのページも大きく多く掲載されている。
- ・ 議会だよりの写真撮影は1人の担当議員が殆ど撮られている。
- ・ 写真を撮る時に気を付けている事は、1. 動きのある写真 2. 目線を大事にしている 3. 低い位置からの写真撮影に気を付けている 4. キャプションが良くなければ楽しくないなど・・・参考にしたい。
- ・ 小学生高学年からを対象にした議会だより作成に努めている。
- ・ 見出しの文字も大きく、若者の活字離れからスピーディに一目で分かるインパクトあるリードに心がけている。文字数もできるだけ減らしているそうだ。

所管・・・一人でも多くの町民の方に、議会だよりを見て頂くために、また、町の動きが分かりやすく、町民目線での議会だより作りに苦慮されていた。委員同士の話し合いや共有、理解、信頼と得意分野での協力など、議会だよりの作成過程の説明を頂きながら努力されている姿を感じた。

委員長は女性の方で、積極的に委員会活動に取り組まれていた。資料も沢山頂き

基山町の議会だよりに活かして、改革できるところはより一層読みやすい議会だよりへと取り組みたい。



視察先:兵庫県神崎郡市川町 市川町議会広報編集委員会 6人

○市川町議会だより いちかわ

- ・表紙の「いちかわ」は小学生に毎回応募して頂き、最初に応募した方の文字を掲載して、最後のページで本人紹介をしている。・・・楽しい企画と思う。
- ・多可町と同じく、ページ数は決められてなく、毎回状況判断で増減。
- ・印刷費 予算約100万円で、発行数4700部
- ・気を付けている事・・・分かりやすい メリハリあるもの 全体をバランスよく文言など統一して読みやすく 詳しい内容についてはHPを見てもらう
- ・リードの文字も大きく変化を持たせて工夫。毎回、試行錯誤して改革しながら作成している。
- ・表紙の写真はテーマをある程度決めて、各委員が写したものから選んでいる。表紙写真・・・動きのある写真 実感のこもった写真を心がけている。
- ・写真を多く大きく掲載 一般質問の議員の写真も大きく掲載しているのは、町民の方に覚えてもらうのが目的。
- ・各項目を各委員で担当・大見出し→中見出し→内容一目見て記事へ興味を
- ・議会だより年間4回発行 2回が表紙・裏表紙カラー 2回が2色刷り
- ・町政約60年で初めて女性議員が誕生、委員会で女性の視点が活かされる。

所感・・・目的は多可町と同じく、多く町民に読んで頂くため、読みやすい議会だよりを心がけ作成されている。私たちも悩みは同じだが、しっかりと改革に取り組まれているのが議会だよりを見比べてわかる。リードの文字も大きい、説明文の文字も大きくされて、高齢者などは読みやすいのではと思う。最後の裏表紙は町民のイベントなどを特集され写真も全面使用にちかく楽しい企画だと思う。頁数に余裕があれば基山町も、取り組みたいと感じた。全委員さんが担当別に説明をされてコミュニケーションの良さを感じた。

